

小学校特別活動研究部

I 研究主題

学級活動（１）における児童の思考力の育成を図る指導法の工夫
～教師のよりよい指導助言と評価について～

II 主題設定の理由

集団活動を通して、望ましい人間を形成し、集団の一員としてより良い生活や人間関係を築こうとする実践的な自己の生き方について考えを深めるために、より一層、学級活動の充実が重視されている。

話し合い活動を充実させ、児童の思考力を育成するためには、教師の的確な助言・評価が必要である。昨年度に引き続き、今年度も学級活動(1)において、話し合う価値の議題の選定・話し合うこと①②の設定・事後の振り返り・実践という一連の流れの中で、教師による的確な指導助言の在り方を研究する。さらに今年度は去年度の課題であった評価の工夫を盛り込み進めていく。

特に話し合い活動学級会場面での事前指導、本時、事後指導の中で、どのような展開をねらいとし、子どもたちの思考を深めるのか、話し合いの3段階討議法（國學院大學 宮川八岐教授提唱）を取り入れ、教師の指導助言を主題として設定した。

学級として自分たちで決めた集団の活動目標を大切にし、どのような活動を展開していくのか、子どもたちの自治的活動において、教師の指導を明確にする。自分たちの課題をふまえ、よりよい生活を築くために、集団としての意見をまとめるなどの話し合い活動や自分たちで決まりをつくって守る活動を充実させたい。学級活動を通して、個性の伸長を図り、集団の一員としての自覚を深め、規範意識の育成をねらいとしていく。

III 研究の方法及び内容

1 授業研究

(1) 指導案検討、作成・研究授業

1人1回授業を公開し、1人2本指導案作成を行なう。課題を踏まえて、2回の研究授業・研究協議を実施する。

(2) 埼玉県特活研究会参加

日時	研究授業者	研修・議題
7月	高橋 康代	「夏祭りの計画を立てよう」
8月		「埼玉県特活研究会」
9月	深澤 正人	「一学期まとめの会」
12月	高橋 康代	「きずな星を増やそう」
	深澤 正人	「新年会の工夫を考えよう」

(3) 研究協議と課題の検討

授業の反省と振り返り。話し合い活動の内容、議題の決定方法などの検討

IV 実践事例

実践事例① 平成25年7月8日 所沢市立牛沼小学校 4年生学級活動 高橋康代

第5回 学級会活動計画 7月8日 月曜日 5時間目			
議題	夏祭りの計画を立てよう		(提案者)・ ・ ・
提案理由	運動会の成功をきっかけに少しずつクラスがまとまってきたと思います。そのふんいきをくずさず、いろいろなことをみんなががんばれる世界一の4-3を目指せたら良いと思います。そこで、みんなで夏らしいことをして盛り上がり、さらに心を一つにして夏休みをむかえたいと思いました。		
役割	司会	・ ・	ノート記録
	黒板記録	・ ・	
めあて	一人一回以上発表しよう。		
決まっていること	<ul style="list-style-type: none"> ・ 7月17日(水) 5校時 室内(教室)で行う。 ・ 心を一つにできること。・ 準備の時間は1時間。 		
話し合いの順序	気をつけること	指導上の留意点(・) 評価☆	
1 始めの言葉 2 計画委員の紹介 3 議題の確認 4 提案理由の説明 5 めあてと決まっていることの発表 6 話し合い ・ 話し合うこと① ○何をやるか。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 意見を出し合う 意見をしぼる 意見をまとめる </div> ・ 話し合うこと② ○役割分担 7 決まったことの発表 8 振り返り 9 先生の話 10 終わりの言葉	<ul style="list-style-type: none"> ・ みんなが集中するように、元気に言う。 ・ はっきりした声で進める。 ・ 大きな声ではっきりと言う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">夏祭りの計画を立てよう</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">夏祭りで何をやるか。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 出た意見 <ul style="list-style-type: none"> ・ きもだめし・牛沼小音頭(盆踊り)・おみこし ・ すいかわり・むかできょうそう・宝さがし ・ わなげ・まとあて・しゃてき・花火をつくれ ・ 虫取りゲーム </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一人一人が自分の考えを発表できるように、学級会ノートに事前に書いた自分の意見を述べる。 ・ 賛成意見が出ていないものは、確認してから下ろす。 ・ 意見がわかれたときは、提案理由やめあて、集会当日までに行える取り組みかどうかをたしかめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">どんな係が必要か。</div> 話し合い①と同じ <ul style="list-style-type: none"> ・ 意見の多いものは決定してよいか、聞く。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 簡単に発表させ、決まったことを全員が確認できるようにする。 ・ 学級ノートに自己評価と感想を書かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 明るい雰囲気話し合えるように、見守る。 ・ 自分のめあてを自信持って言えるように事前に指導する。 ・ 提案者の思いが学級全体に伝わるように発表させる。 ・ めあてと決まっていることを理解し、意欲を持って話し合いに参加できるようにする。 ・ 賛成・反対意見を出し合い、まとめさせる。 ・ 司会者が困っている時や、話の方向がずれてしまいそうな時、自治的範囲を超えそうな時は積極的に助言する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 決まったこと ◎牛沼小音頭(盆踊り) ◎おみこし </div> <ul style="list-style-type: none"> ◆自分の考えを、理由をつけてはっきりと発表することができる。 ◆友だちの意見に耳を傾け、自分の意見と比べながら発表している。(観察・学級会ノート) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 決まったこと ◎たいこ係 ◎おみこしを作る係◎材料係 ◎かざりつけ係◎音楽係 ◎司会 ◎歌係 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自己評価できるように助言する。 ・ めあてや提案理由を意識した発言、友達の意見を尊重した発言など、よい点を称賛する。 ・ 計画委員へねぎらいの言葉をかけ、実戦への見通しを持たせる。 ・ 事後の活動へ意欲が高まるよう言葉をかける。 	

〈○成果と●課題〉

- 事前に子ども達のイメージが共有化されていたので、話し合いたいという期待感を持っていた。
- 教師が支援した後に、手を挙げて発表している子がいた。
- 拍手はもろはの剣。自然に生まれた拍手なら良いが、力の強い子につられることがある。
- 話し合い①「何をするか」が早く進みすぎた。もう少し意見を出してもよかった。
- 夏祭りを盛り上げる工夫を話し合ってもよかった。

実践事例② 平成25年9月30日 所沢市立若狭小学校 5年生学級活動 深澤正人

第6回 学級会活動計画 9月30日 月曜日 2時間目			
議題	一学期まとめの会をしよう。		(提案者) ・ ・
提案理由	4月から運動会や林間学校など協力して成功することができました。さらにここで協力して5年2組の工夫した一学期まとめの会をすれば、二学期の行事などみんなで楽しく成功できると思うので提案します。		
役割	司会	・ ・	ノート記録
	黒板記録	・ ・	
めあて	二学期に向けて協力できる会の内容を決めよう。		
決まっていること	<ul style="list-style-type: none"> ・ 10月10日(木) 4時間目 教室で行う。 ・ みんなが楽しめる工夫を考える。・ 期間や時間を意識して考える。 		
話し合いの順序	気をつけること		指導上の留意点(・) 評価☆
1 始めの言葉 2 役割紹介 3 議題の確かめ 4 提案理由の説明 5 めあての確かめ 6 話し合うことの確かめ 7 決まっていることの確かめ 8 先生の話 9 話し合い活動 ・ 話し合うこと① 新年会で何をするか。 <話し合いのながれ> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 意見を出し合う 意見をしぼる 意見をまとめる </div> ・ 話し合うこと② やることの工夫はどんなものがあるか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ みんなが集中するように、元気に言う。 ・ はっきり言う。 ・ 大きな声ではっきりと言う。 ・ 二学期に向けて協力できる会の内容を決めよう。 ・ 日時、プログラム、集会のめあて、役割を書いてはっておく。 ・ 一学期まとめの会でやることを決めよう ・ なんでもバスケット・勉強バスケット・爆弾ゲーム ・ 学力大会・二学期の目標を言う・一学期の感想 ・ 人狼ゲーム・私は誰でしょう・かるた ・ できるだけたくさんの人に発表してもらおう。 ・ 意見が多いものを1つ決めて、残ったものはどうするか聞く。 ・ 賛成意見が出ていないものは、確認してから下ろす。 ・ 意見がわかれたときは注目マークを使う。 ・ 意見がわかれたときは、提案理由やめあて、集会当日までにできる取り組みかどうかをたしかめる。 ・ やることの工夫を考えよう。 話し合い①と同じ		<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体が落ち着いてからはじめさせる。 ・ 提案理由の説明は、提案者の思いが伝わるように説明できるように指導しておく。 ・ 話し合いのめあてがずれないように助言する。 ・ 話し合いの方向性がずれないように最低限の基準について確認させる。 ・ いままでの話し合いで注意してきたことを振り返りながら、集会の内容を決められるように意欲付けをする。 ・ 自分の意見に固執せず、友達の見解を聞いて納得した上で考えを変えることは集団生活上必要だということを助言する。 ◆自分の考えを、理由をつけてはっきりと発表することができる。(観察法) ◆友だちの意見を聞き、進んで発言しようとしている。(観察法) ・ 意見の付け加え、意見の変更の話し方が出来ている子どもを賞賛する。

<p>・話し合うこと③ どんな役割が必要か。</p> <p>10 決まったことの発表 11 振り返り 12 先生の話 13 終わりの言葉</p>	<p>意見の多いものは決定してよいか、聞く。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>〈勉強バスケット〉←なんでもバスケット+学力大会 ・一人一問考える。・簡単なものでもよい。 ・どんな問題でもよい(クイズ・漢字・計算・〇×) 〈誕生日会〉・給食のとき乾杯を行う。 ・誕生日カードを作る・誕生日年表を作る。 〈私は誰でしょう〉・アンケートを作る。・小さいころの 写真を使う 〈人狼ゲーム〉→テレビのものをそのまま</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0; text-align: center;"> <p>だれがどの役割をするか</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>4つのものをみんなで分担する。 ・バースデー係はお誕生日会に入る。 ・人狼ゲームは知っている人中心に行く。 ・3人ぐらい発表してもらう。</p> </div>	<p>・自分の思いを上手に伝えられていないときは、互いに意見を確認しながら理解を深め進むようにする。</p> <p>・提案理由やめあてにそって発表できる児童を積極的に賞賛する。</p> <p>◆提案理由を踏まえ、友だちと自分との意見の違いを考え、判断している。(観察法)</p> <p>◆話し合いのルールや、決まったことがわかる。(観察法・学級会ノート)</p> <p>・自己評価できるように助言する。</p> <p>・めあてや提案理由を意識した発言を称賛するとともに今後の課題を与える。</p> <p>・計画委員へねぎらいの言葉をかけ、実戦への見通しを持たせる。</p> <p>・ねらいについて適切な評価をする。</p> <p>・事後の活動への意欲が高まるように言葉かけをする。</p>
--	--	--

〈○成果と●課題〉

- 学級コーナーを充実させることで、話し合いへの意欲が高まりや本時の意見が深まった。
- 提案理由を意識させることで、何のために話し合うのかが定まり話し合いが深まった。
- カレンダーを提示することで、準備期間等の時間への意識や当日への期待感が高めることができた。
- 一学期まとめの会の中に誕生日会を入れたことで、係り活動が深まった。
- 一学期のまとめをすることで、二学期の行事などに協力することが意識できた。
- 事前に出された意見への質問が十分になされておらず、意見への思いが共有化できなかった。
- 意見を出した児童の思いを受け止めることができず、意見だけの表面的な話し合いになってしまった。
- 発言面で、児童への手立てが取れず、決まった児童の発言が多くなってしまった。

実践事例③ 平成25年12月1日 所沢市立牛沼小学校 4年生学級活動 高橋康代

第10回 学級会活動計画 12月12日 木曜日 3時間目				
議題	きずな星をふやそう。			(提案者)・
提案理由	四年生もあと残り三か月と少しになりました。たくさんの行事やイベントに取り組み、クラスのきずなも深まってきたと思います。でも、最近「きずな星」がふえていません。そこで、クラスでまだできていないことに目を向けて、キャンペーンに取り組んで、きずな星をふやしたいです。そしてみんなの心をさらに一つにしていきたいです。			
役割	司会	・	・	ノート記録
	黒板記録	・	・	
めあて	クラスでできていないことに目を向けたキャンペーンを考えよう。			
決まっていること	<ul style="list-style-type: none"> ・期間は、12月16日(月)～20日(金) ・成功したらお祝いのパーティーを開く。 			

話し合いの順序	気をつけること	指導上の留意点（・） 評価☆
<p>1 始めの言葉</p> <p>2 計画委員の紹介</p> <p>3 議題の確認</p> <p>4 提案理由の説明</p> <p>5 めあてと決まっていること の確認</p> <p>6 話し合い</p> <p>話し合うこと①</p> <p>○どんなキャンペーンにするか。</p> <p>意見を出し合う 意見をしぼる 意見をまとめる</p> <p>話し合うこと②</p> <p>○キャンペーンを成功させるための工夫</p> <p>話し合うこと③</p> <p>○役割分担</p> <p>7 決まったことの発表</p> <p>8 振り返り</p> <p>9 先生の話</p> <p>10 終わりの言葉</p>	<p>・みんなが集中するように、元気に言う。</p> <p>・大きな声ではっきりと言う。</p> <p>きずな星をふやそう</p> <p>どんなキャンペーンをするか。</p> <p>出た意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業メリハリつけようキャンペーン ・あいさつキャンペーン ・発表がんばろうキャンペーン ・外で元気よくあそぼうキャンペーン ・名札をつけようキャンペーン <p>・できるだけたくさんの人に発表してもらう。</p> <p>・賛成意見が出ていないものは、確認してから下ろす。</p> <p>・意見がわかれたときは、提案理由やめあて、当日までにできる取り組みかどうかをたしかめる。</p> <p>キャンペーンを成功させるための工夫</p> <p>話し合い①と同じ</p> <p>決まったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎あいさつたいのたすきを作る。 ◎ポスターをはる。 ◎自分にあいさつしてくれた友達や、あいさつをしている友達を見かけたら、名簿にシールを貼ってあげる。 <p>・意見の多いものは決定してよいか、聞く。</p> <p>どんな役割が必要か。</p> <p>決まったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎あいさつたい（全員が一回以上やる。） ◎あいさつたいのたすき係 ◎ポスター係 <p>・3人ぐらい発表してもらう。</p>	<p>・明るい雰囲気話し合えるように、見守る。</p> <p>・自分のめあてを自信持って言えるように事前に指導する。</p> <p>・提案者の思いが学級全体に伝わるように発表させる。</p> <p>・めあてと決まっていることを理解し、意欲を持って話し合いに参加できるようにする。</p> <p>・賛成・反対意見を出し合い、まとめさせる。</p> <p>・司会者が困っている時や、話の方向がずれてしまいそうな時、自治的範囲を超えそうな時は積極的に助言する。</p> <p>決まったこと</p> <p>◎あいさつキャンペーン</p> <p>◆自分の考えを、理由をつけてはっきりと発表することができる。</p> <p>◆友だちの意見に耳を傾け、自分の意見と比べながら発表している。</p> <p>（観察・学級会ノート）</p> <p>・自己評価できるように助言する。</p> <p>・めあてや提案理由を意識した発言、友達の意見を尊重した発言など、よい点を称賛する。</p> <p>・計画委員へねぎらいの言葉をかけ、実践への見通しを持たせる。</p> <p>・事後の活動への意欲が高まるように言葉かけをする。</p>

〈○成果と●課題〉

- 学級コーナーを充実させることで、話し合いへの意欲が高まりや本時の意見が深まった。
- 提案理由を意識させることで、何のために話し合うのかが定まり話し合いが深まった。
- 司会だけでなく計画委員が助け合って進めていた。
- 意見を分類することで、意見の比較検討ができポイントを絞って話し合いができた。
- 学級会後の振り返りにおいて今まで学んできたことやこれからの課題について確認することで、次の話し合いへの意識が高まった。
- 意見についてどのような内容なのか、どのような思いによって出されたのか等、イメージの共有が不十分であった。
- 計画委員の打ち合わせの時間が少なく、司会進行がスムーズにできなかった。
- 柱①「何をするか」では、条件が絞り切れておらず膨らんでしまい時間がのびてしまった。
- 決まった児童が発表しており、話し合いが進まない場面があった。

実践事例④ 平成25年12月19日 所沢市立若狭小学校 5年生学級活動 深澤正人

第8回 学級会活動計画 12月19日 木曜日 4時間目			
議題	新年会の工夫を考えよう。		(提案者)・ ・
提案理由	4月からいろいろな行事をみんなで協力して行ってきました。さらに仲を深めるためにみんなのことをもっと知ることができたらよいと思います。また、年が明けるとお祝いすることで気持ち新たに楽しくスタートが切れると思ったので提案しました。		
役割	司会	・ ・	ノート記録
	黒板記録	・ ・ ・	
めあて	新年会が楽しくなるような工夫を考えよう。		
決まっていること	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1月16日(木) 4時間目 教室で行う。 ・ みんなが楽しめる工夫を考える。 ・ 期間や時間を意識して考える。(二つまで) 		
話し合いの順序	気をつけること	指導上の留意点(・) 評価☆	
1 始めの言葉 2 役割紹介 3 議題の確かめ 4 提案理由の説明 5 めあての確かめ 6 話し合うことの確かめ 7 決まっていることの確かめ 8 先生の話 9 話し合い活動 ・話し合うこと① 新年会で何をするか。 <話し合いのながれ> 意見を出し合う 意見をしぼる 意見をまとめる	<ul style="list-style-type: none"> ・ みんなが集中するように、元気に言う。 ・ はっきり言う。 ・ 大きな声ではっきりと言う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 協力する→仲を深める ・ 新年をみんなで祝いする。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日時、プログラム、集会のめあて、役割を書いてはっておく。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 新年会でやることを決めよう (10分) </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ かくし芸大会・なわとび大会・かるた大会 ・ 羽根つき・福笑い →時間がかかるもの ・ 目標を言う・誕生日会→時間がかからないもの </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ できるだけたくさんの人に発表してもらおう。 ・ 意見が多いものを1つ決めて、残ったものはどうするか聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体が落ち着いてからはじめさせる。 ・ 提案理由の説明は、提案者の思いが伝わるように説明できるように指導しておく。 ・ 話し合いのめあてがずれないように助言する。 ・ 話し合いの方向性がずれないように最低限の基準について確認させる。 ・ いままでの話し合いで注意してきたことを振り返りながら、集会の内容を決められるように意欲付けをする。 ・ 自分の意見に固執せず、友達の意見を聞いて納得した上で考えを変えることは集団生活上必要だということを助言する。 	

<p>・話し合うこと② やることの工夫はどんなものがあるか。</p> <p>・話し合うこと③ どんな役割が必要か。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・賛成意見が出ていないものは、確認してから下ろす。 ・意見がわかれたときは注目マークを使う。 ・意見がわかれたときは、提案理由やめあて、集会当日までにできる取り組みかどうかをたしかめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">やることの工夫を考えよう。</div> <p>(15分) 話し合い①と同じ</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>〈かくし芸大会〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1～5人グループを作る。・エントリー制 ・時間を決めて行う。・誘い合う（できない人もOK） <p>〈福笑い〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全員で行う。・グループで行う。・〇〇賞を作りたい。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・意見の多いものは決定してよいか、聞く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">だれがどの役割をするか</div> <p>(7分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆自分の考えを、理由をつけてはっきりと発表することができる。(観察法) ◆友だちの意見を聞き、進んで発言しようとしている。(観察法) ・意見の付け加え、意見の変更の話し方が出来ている子どもを賞賛する。 ・自分の思いを上手に伝えられていないときは、互いに意見を確認しながら理解を深め進むようにする。 ・提案理由やめあてにそって発表できる児童を積極的に賞賛する。 ◆提案理由を踏まえ、友だちと自分との意見の違いを考え、判断している。(観察法) ・自分の希望で、役割を分担し、進んで活動できるようにする。 ◆話し合いのルールや、決まったことがわかる。(観察法・学級会ノート) ・自己評価できるように助言する。 ・めあてや提案理由を意識した発言を称賛するとともに今後の課題を与える。 ・計画委員へねぎらいの言葉をかけ、実践への見通しを持たせる。 ・ねぎらいについて適切な評価をする。 ・事後の活動への意欲が高まるように言葉かけをする。
<p>10 決まったことの発表</p> <p>11 振り返り</p> <p>12 先生の話</p> <p>13 終わりの言葉</p>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>〈かくし芸大会〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1～5人グループを作る。・エントリー制 ・時間は30分。・誘い合う（できない人もOK） <p>〈福笑い〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全員で行う。・1つ大きなものをつくる。 ・みんなパーツを1つは作る。・賞はなし。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・3人ぐらい発表してもらおう。 	

〈○成果と●課題〉

- 採用にならなかった意見も、児童が意識して自主的に行うようになった。
- 話し合いの前に、学級会ノートに教師から励ましの言葉を書くことで、発言の少ない児童も意欲的に参加するようになった。
- 児童の思いをくみ、教師が指導助言することによって、相手の思いを受け入れ取り組む児童が増えた。
- 学級会グッズ（学級会進行カード）を工夫することで、スムーズに進めることができた。
- 学級会の経験を積むことで、計画委員や他者の気持ちを考えることのできる児童が増えた。
- 活動後に振り返りをすることで、自分たちの生活をよりよくする児童がいた。
- 意見が二極化し、なかなか決まらない時の教師の指導助言の仕方を工夫すると良かった。
- 話し合いの柱②「どのような工夫をするか」に重点を置いて話し合わせた方が良かった。

V まとめと課題

1 成果

(1) 事前の活動

- ・学級会コーナーを設置し意見を掲示することで、児童は話し合いに向けて事前の見通しを持つことができた。
- ・学級会ノートに工夫の内容や役割分担など書かせることにより、事前に児童の意見を把握することができた。児童の意見に励ましの言葉を書いておくことで、発表する児童が増えた。
- ・提案理由に「何のために話し合うのか」「活動を行うとどんなことが良くなるのか」を明確化することで、提案者の思いにそって話し合いができた。
- ・計画委員との話し合いを充実させること（休み時間など）により、進行がスムーズになった。

(2) 本時（学級会）

- ・学級会ノートに学級会の流れを張っておくことで、司会以外の児童も流れをつかむことができスムーズに進行することができた。
- ・カレンダーやプログラムなど具体物を示すことで、イメージを共有し意見を深めることができた。
- ・反対意見で決めていくのではなく、賛成意見で決めていくようにすることで、提案理由や「何のために話し合うのか」という思いにそって話し合いを進めることができた。
- ・意見の対立が起こったときは、意見の中にある思いや考えを考えるような教師の指導助言が大切であることがわかった。
- ・採用されなかった意見に対しては「ありがとうマーク」をつけ、感謝の気持ちを伝え、その意見を掲示しておくことで、その後の取り組みに入れることができた。
- ・教師の話で折合いをつける意見や合体する意見、提案理由にそった意見を取り上げることで、次の学級会で意見を言う児童が増えた。

(3) 事後の活動

- ・活動で「できるようになったこと」や「今後の課題」について振り返らせることで、次への活動に対して意欲的になった。
- ・振り返りでは、学級会だけでなく準備や取り組みの場面も含めることで、児童が活動に対して意欲的になっていった。

2 次年度に向けての課題

- (1) 学級全員による共通理解・共通意識（集団目標・集団決定）による活動の継続
- (2) 学年に応じた学級活動の指導法の徹底と継続（学級活動達成するための活動、自治的活動への教師の理解）
- (3) 評価をする場面や仕方の工夫（自己評価と相互評価の活用）
場面ごとでの評価の基準の設定
- (4) 子どもたちの良さや思いを引き出すための教師の指導助言の仕方の研究